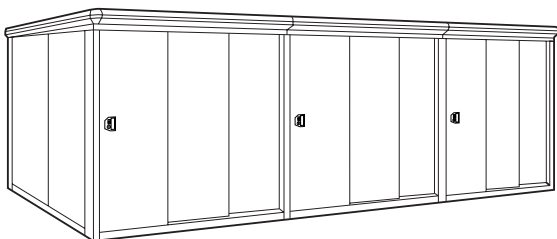
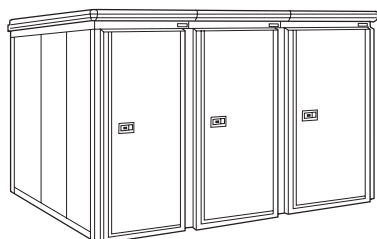
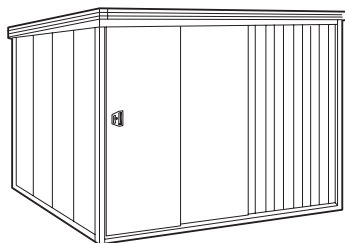
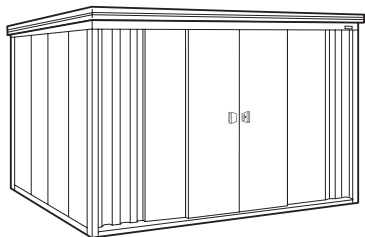


ダイケン物置・DM-KN・KNR・KNL 型 取扱説明書



ご使用の皆様へ

- このたびは、ダイケン物置をお買い上げいただき、ありがとうございます。
- この取扱説明書は、物置の正しいご使用方法及びお手入れ方法などの説明を掲載していますので、ご使用前には必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
- また、当説明書はいつでも使用できるように、大切に保管してください。

工事店・施工主様へ

- この取扱説明書をご使用になる方へ必ずお渡しください。



株式
会社

ダイケン

1. は じ め に

- この取扱説明書は、物置をご使用になる方のために使用方法を説明したものです。
- 最初にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、ご使用ください。
- 当説明書中に記載している内容は大切な事です。必ず読んでお守りください。
お守りいただかないと、思わぬ事故や怪我につながる事になります。
また、物置本体や収納物をいためる場合があります。

~~~~~

下記事項を必ず記入し、保管してください。

購入年月日：                      年                      月                      日

購入店名： \_\_\_\_\_

機 種 名： \_\_\_\_\_ 型

鍵ナンバー： \_\_\_\_\_

---

## 2. 目 次

---

|                  |       |
|------------------|-------|
| 1. はじめに          | 1     |
| 2. 目 次           | 2     |
| 3. 安全にお使いいただくために | 3     |
| 安全な使用の為に         | 4     |
| 4. 製品の概要         |       |
| 各部の名称            | 5～6   |
| 錠前について           | 7～9   |
| ぜんまいユニットについて     | 10～11 |
| 各部の強度            | 12    |
| 5. ご使用方法         |       |
| 通常時の使い方について      | 13    |
| 収納の仕方について        | 14    |
| 6. お手入れ方法        | 15    |
| 7. 修理のご案内        | 16    |

# 3. 安全にお使いいただくために

●物置のご使用前にこの「安全にお使いいただくために」をよく読み、理解してから使用してください。

●安全にご使用いただくために特に大切な「お知らせ」には、本取扱説明書では次のようなシンボルマークとシグナル用語で危険のレベル分けをしています。



**危険**

取扱いを誤った場合に、使用者または不特定多数の第三者が、死亡または重傷を負う危険の状態が生じることが想定され、かつ危険発生時の警告の緊急性（切迫の度合い）が高い限定的な場合（高度な危険を含む）。



**警告**

取扱いを誤った場合に、使用者または不特定多数の第三者が、死亡または重傷を負う危険の状態が生じることが想定される場合。



**注意**

取扱いを誤った場合に、使用者または不特定多数の第三者が、軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険の状態が生じることが想定される場合。

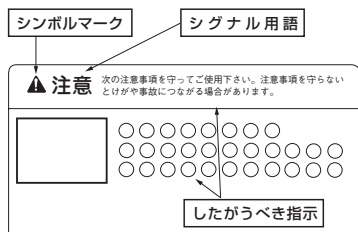


「必ずしてほしい行為」を表します。



「禁止」を表します

本文では以下のように使用します。



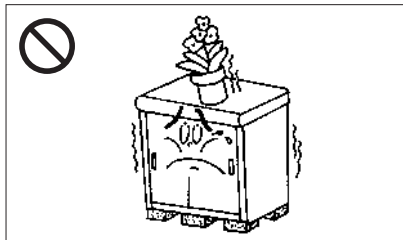
「シグナル用語」に続くしたがうべき指示を十分守らないと、人身事故につながるようになります。

## 安全な使用の為に

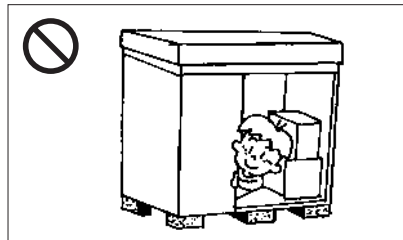
### ⚠ 注意

次の注意事項を守ってご使用ください。注意事項を守らないとけがや事故につながる恐れがあります。

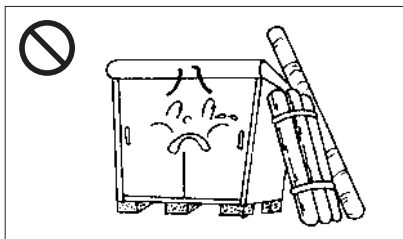
屋根の上に物を載せたり、乗ったり、ぶら下がったりしないでください。  
※転落により、ケガをする場合があります。又、物をのせると落下する事もありケガ、破損の原因になります。



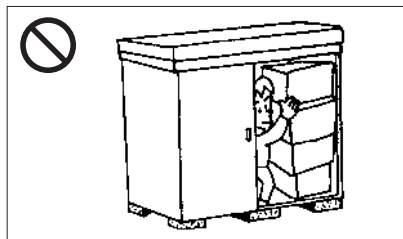
物置は本来品物の収納に使用されるものです。子供の遊び場など他の目的に使用しないでください。



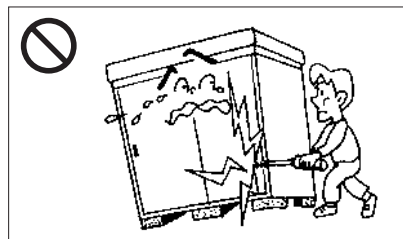
外壁にものを立てかけないでください。  
※強風などにより、たおれて危険です。又、腐食の原因になります。



物置の中に人がいる場合は鍵をかけないでください。



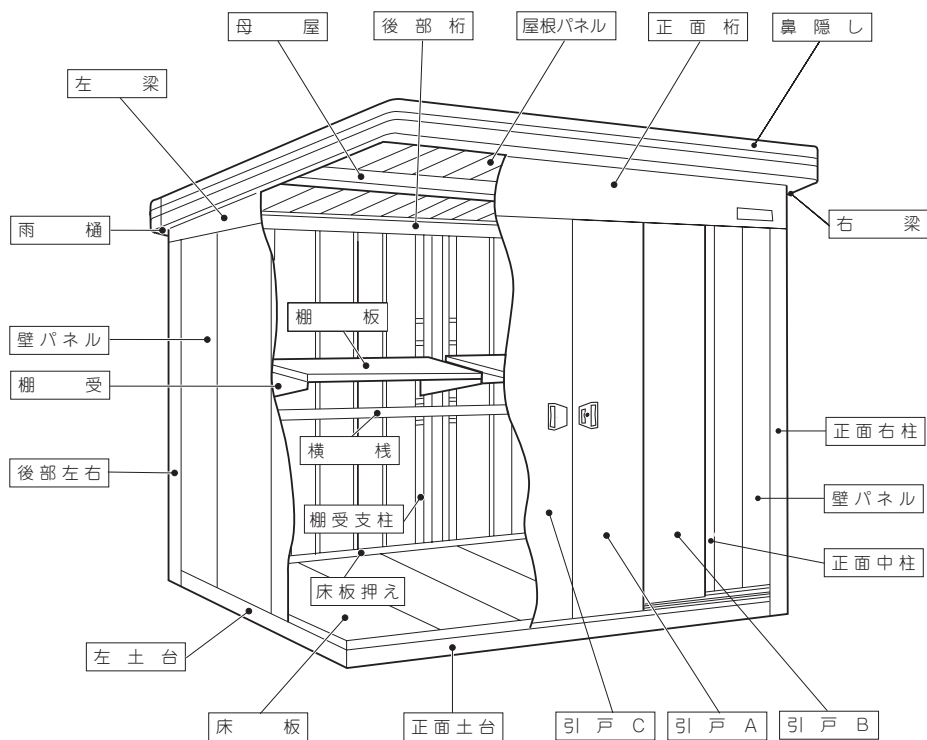
改造しないでください。又、電気配線は専門業者にご相談下さい。  
※物置本来の性能を損ない、ケガ、破損の原因になります。



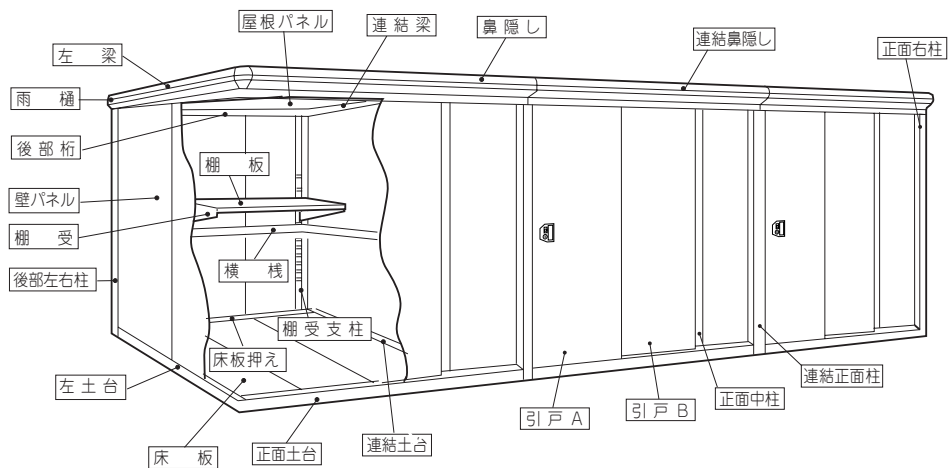
## 4. 製品の概要

### 各部の名称

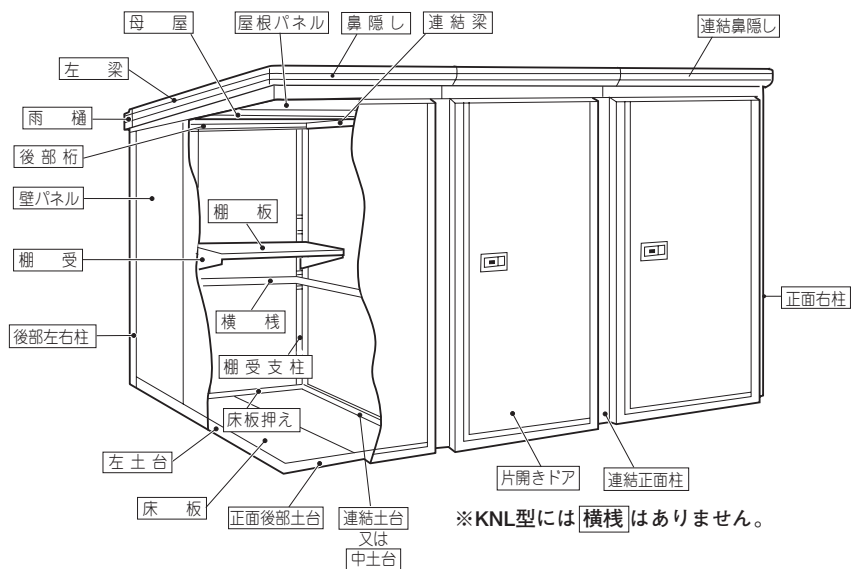
#### DM-KN型



## DM-KNR型 (引戸タイプ)



## DM-KNR (片開きドアタイプ)・KNL型

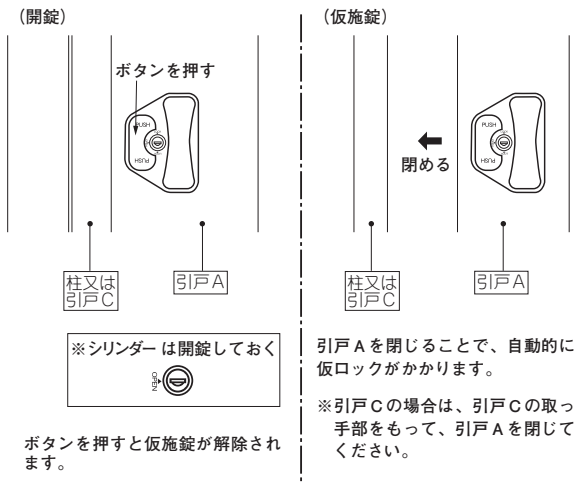




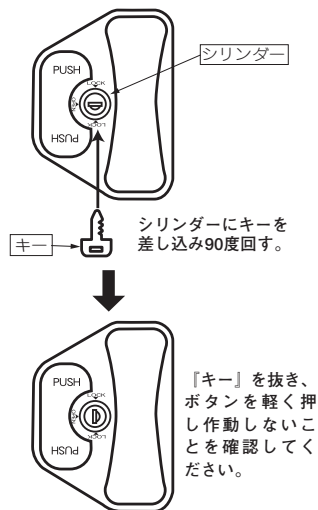
## 錠前について (DM-KN型に適用)

この物置の錠前は『簡易的に施錠する』場合と『確実に施錠する』場合の2通りの仕様となっております。使用方法をよくお読みのうえご使用ください。

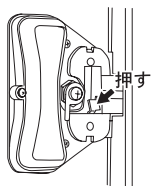
### ●簡易的に施錠・開錠する場合



### ●確実に施錠する場合 (仮施錠の状態にします。)



### 庫内にいる時に仮施錠されてしまった場合



レバーを押すと仮施錠が解除されます。  
(但し、キーによる施錠時には解除できません。)  
※あくまでも非常用のレバーです。このレバーを使用する様な物置の使用はしないでください。

### ●仮施錠がスムーズにできない場合

①仮施錠の機能が誤作動している場合があります。ボタンを押し、再度ゆっくり引戸を閉めてください。

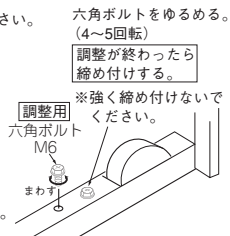


②引戸の建て付けが悪い場合があります。戸車の調整をしてください。

●戸車の調整 引戸が傾いた場合、調整してください。

左側があがっている場合

右側があがっている場合



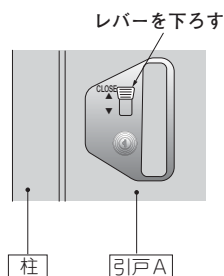
## (DM-KNR型：引戸タイプに適応)

この物置の錠前は『簡易的に施錠する』場合と『確実に施錠する』場合の2通りの仕様となっております。使用方法をよくお読みのうえご使用ください。

### ●簡易的に施錠・開錠する場合

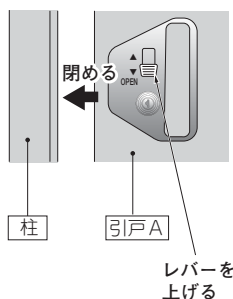
(開錠)

レバーを下ろすと仮施錠が解除されます。

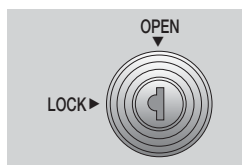


(仮施錠)

引戸Aを操作し閉めましたら錠前のレバーを上げることで仮施錠できます。

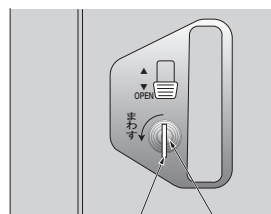


※シリンダーはOPENにしておいてください。

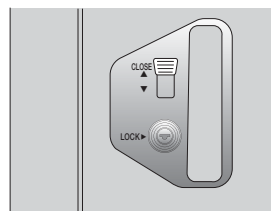


### ●確実に施錠する場合

(開錠または仮施錠の状態から操作できます。)

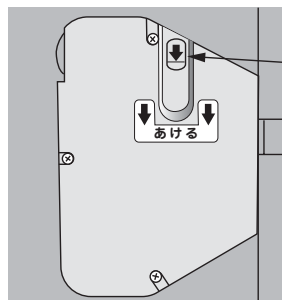


シリンダーにキーを差し込み90度まわす。



※『キー』を抜き、レバーを軽く下ろす方向に動作し、レバーが下りない事を確認してください。

### 庫内にいる時に仮施錠されてしまった場合



レバーを下ろすと仮施錠が解除されます。

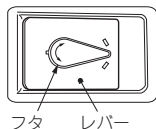
(但し、キーによる施錠時には解除できません。)

※あくまでも非常時用のレバーです。このレバーを使用する様な物置の使用はしないでください。

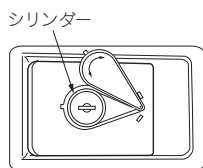
## (DM-KNR型：片開きドアタイプ、DM-KNL型に適用)

この物置は『簡易的に施錠する』場合と『確実に施錠する』場合の2通りの仕様となっております。使用方法をよくお読みのうえご使用ください。

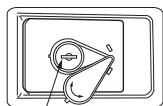
### ●錠前について



フタは上下に回転します。  
回転させるとシリンダーがあります。

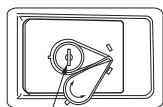


シリンダーの状態  
(OPEN状態)



長方形が横長になっています。

(LOCK状態)

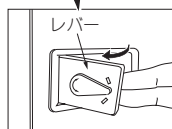
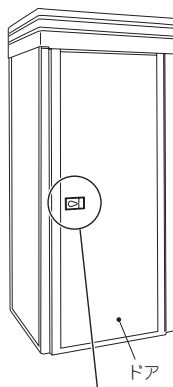


長方形が縦長になっています。

### ●簡易的に施錠・開錠する場合

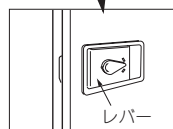
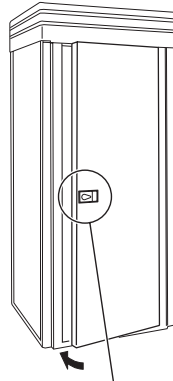
(開錠)

錠前部のレバーを引くことで仮施錠が解除されドアが開きます。  
(シリンダーをOPENの状態にしておいてください)



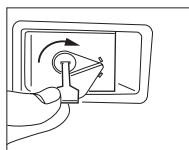
(仮施錠)

ドアを閉めることで仮施錠します。  
※錠前を触らずに閉められますが、  
丁重にご使用いただくには、  
レバーを引いた状態でドアを閉め、  
納まってからレバーを戻すと仮施錠します。

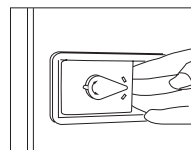


### ●確実に施錠する場合

(まず、仮施錠の状態にします。)

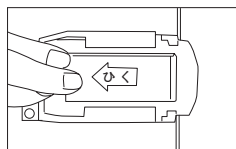


シリンダーに『キー』を差し込み90度回す。



『キー』を抜き、レバーが引けないことを確認してください。

### 庫内にいる時に仮施錠されてしまった場合



レバーを矢印の方向にひくことで仮施錠が解除されます。  
レバーをひいたまま、ドアを押してください。

(但し、キーによる施錠時には解除できません。)

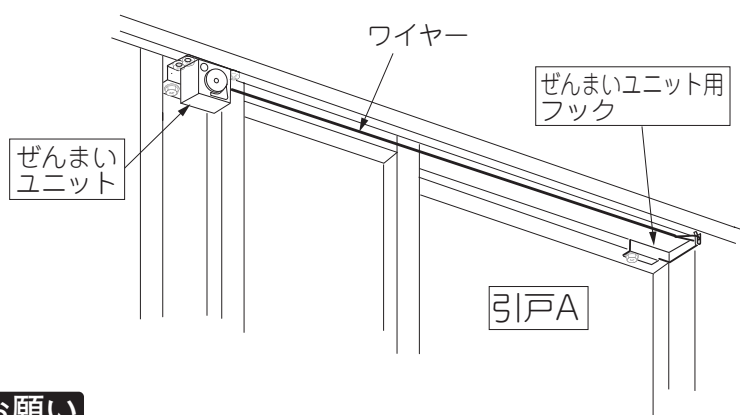
※あくまでも非常時用のレバーです。このレバーを使用する様な物置の使用はしないでください。

## ぜんまいユニットについて (DM-KN型に適応)

錠前のボタンを押すことで、引戸が開くための部品です。

自動で開いてほしくない場合は、前もってぜんまいユニット用フックからワイヤーをはずしておいてください。(※ワイヤーをしっかり持ってはずし、ぜんまいユニットにゆっくり収納してください。いきなりはなすと、ワイヤーでケガをする原因となります。)

又、降雪などによる引戸周辺の堆積物や結露等から凍結が予見される場合や長期間使用しない時はあらかじめワイヤーをはずしてください。



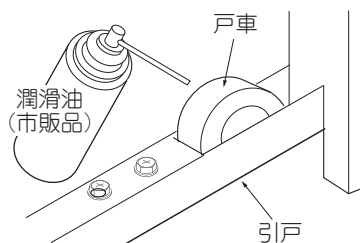
### お願い

- ① 引戸が自動で開く様に設定されている為、引き戸を閉めるときは、ゆっくり、確実に操作してください。

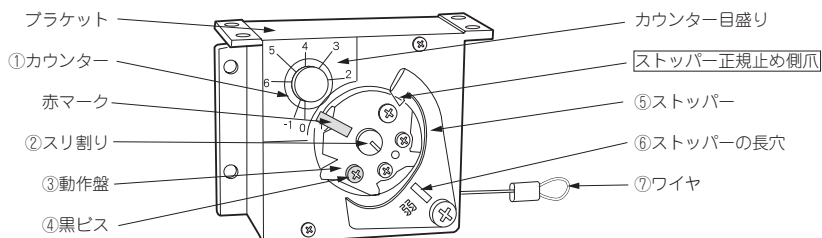
(はやく引戸を閉める操作をしたり、不確実な操作をすると、仮施錠せずに引戸が開いてしまったりして、周囲に人がいた場合はケガの原因や物置や収納物の破損の原因となります。)

- ② スムーズに引戸が開く様に、定期的に引戸の戸車部に、市販品の潤滑油を注油してください。

(引戸が自動で開く幅が狭くなったり、ワイヤーをはずしているときは、開閉力が重くなってきたら注油してください。)



# このぜんまいユニットは、わずかな範囲の引き込み力を調節できます。 (DM-KN型に適用)

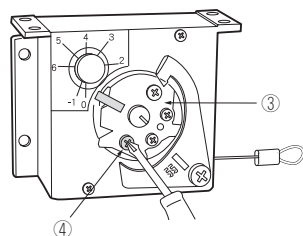


ぜんまいユニット本体

## 出力調節方法

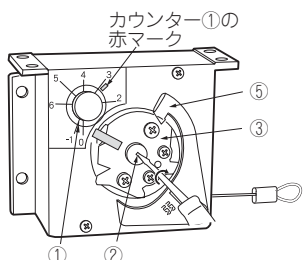
- 動作盤③を固定している1本の黒ビス④をドライバでゆるめてください。  
(黒ビス④は、ゆるめても脱落しない構造になっています。)

※銀色の皿ビスはゆるめないでください。



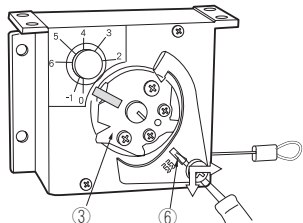
## 引き込み力を強くする

- 中央にある軸のスリ割り②に、マイナスドライバーを差し込み、動作盤③を刻印「強」の方向(右)へ、1~数山分回します。
- 一山(60°)毎に逆転防止の為にストッパー⑤が働きます。  
調整量はカウンター①の赤マークと、カウンター目盛にて確認してください。
- 相手荷重を手で支えて、ゆっくり動かしながら、所望の動きをするように調整します。



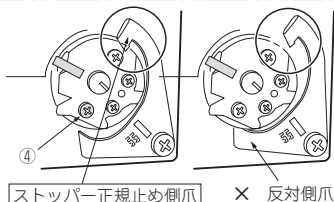
## 引き込み力を弱くする

- ストッパーの長穴⑥に、マイナスドライバーを差し込み、希望する力になるまで、左右交互にねじってください。
- 動作盤③の爪が1/2山づつ解除されていきます。



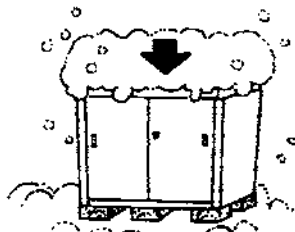
## 調節を終える時

- 調節を終える時は、**ストッパー正規止め側爪**で止まっている状態にて停止させてください。
- 元の黒ビス④をねじ込み、**ストッパー正規止め側爪**で止まっている状態にして、黒ビス④をねじ込んでください。



## 各部の強度

|               | 積雪強度 |         |
|---------------|------|---------|
| DM-KN<br>KNR型 | 一般型  | 60cm以下  |
|               | 多雪型  | 100cm以下 |
| DM-KNL型       |      | 100cm以下 |



## ⚠ 注意

### 屋根の強度

積雪強度は下記の強度に耐えますが、安全のため雪降しは早めに行ってください。

| 製品名           |     | 積雪強度                                             | 雪降ろしの目安 |
|---------------|-----|--------------------------------------------------|---------|
| DM-KN<br>KNR型 | 一般型 | 1200N/m <sup>2</sup><br>(120kgf/m <sup>2</sup> ) | 30cm以下  |
|               | 多雪型 | 3000N/m <sup>2</sup><br>(300kgf/m <sup>2</sup> ) | 50cm以下  |
| DM-KNL型       |     | 3000N/m <sup>2</sup><br>(300kgf/m <sup>2</sup> ) | 50cm以下  |

※許容荷重を超えた場合、物置の変形、破損により、ケガ又は収納物の破損などの事故の原因となります。

## ⚠ 注意

### 棚の強度

棚板強度は大きさにより、許容荷重が異なります。下記の荷重以上は物をのせないでください。又、

| 製品名           | 棚板（幅×長さ）            | 1枚の許容加重       |
|---------------|---------------------|---------------|
| DM-KN<br>KNR型 | 棚板 8型390mm× 800mm   | 600N(60kgf)以下 |
|               | 棚板 12型390mm× 1200mm | 900N(90kgf)以下 |
| DM-KNL型       | 棚板 6型390mm× 690mm   | 500N(50kgf)以下 |

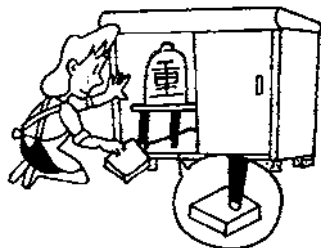
※棚の変形及び破損による、収納物の落下にてケガや収納物の破損などの事故の原因になります。

## ⚠ 注意

### 床の強度

床の強度は、物を均等に置いた状態で6000N/m<sup>2</sup> (600kgf/m<sup>2</sup>)に耐えます。

尚、重量のある脚付の収納品は脚の下に15～20cm角の丈夫な板を敷いてください。、



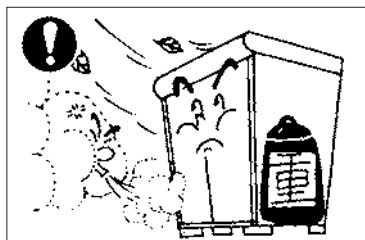
## 5. ご 使 用 方 法

### 通常時の使い方について

#### ⚠ 注意

次の注意事項を守って使用ください。注意事項を守らないとけがや事故につながる恐れがあります。

※施工の際には必ずアンカー工事を行ってください。

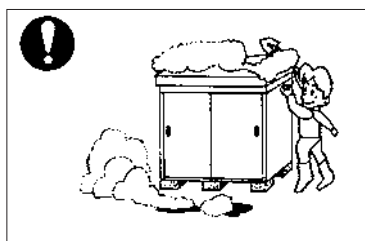


#### ⚠ 注意

台風や強風時には

- ①床に重い物を置いて、物置が動いたり転倒したりしない様にしてください。
- ②物置の中に風が吹き込まぬ様ドアを閉めて必ず鍵をかけてください。

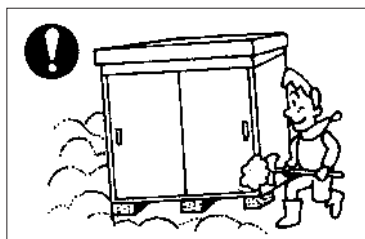
※強風によりドアが開いてはズレると、収納物又は部材の飛散、転倒することがあります。



#### ⚠ 注意

積雪時には

- ①脚立などを使ってケガのない様安全に雪降しを行ってください。  
危険ですので屋根に乗らないでください。
- ②物置の周囲の雪は適時、除雪してください。



## 収納の仕方について

○物置は鉄板製の為、季節の変化や、地域差、又は気候により、庫内は温度、湿度、ほこり、結露などの影響を受ける場合があります。

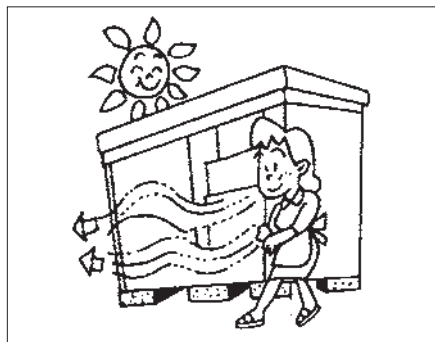
### — お 願 い —

- (1) ドアを開けて庫内の換気をしてください。  
季節または地域により、庫内がむれたり、結露する場合があります。
- (2) 衣類など湿気やほこりを嫌う収納品はビニール袋などに入れてください。
- (3) 電気製品は必ずダンボール箱に入れて収納してください。  
ほこりや湿気から電気製品を保護してください。
- (4) 危険物は収納しないでください。
- (5) 漬物樽等は塩分により、サビの発生原因になりますので受け皿の上に樽を置いてください。
- (6) 肥料や農薬など化学肥料類もサビの発生原因になりますので、床面に散乱しない様にしてください。

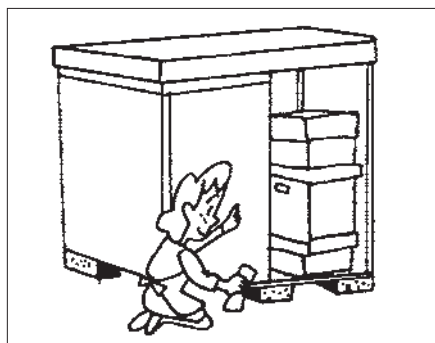


## 6. お手入れ方法

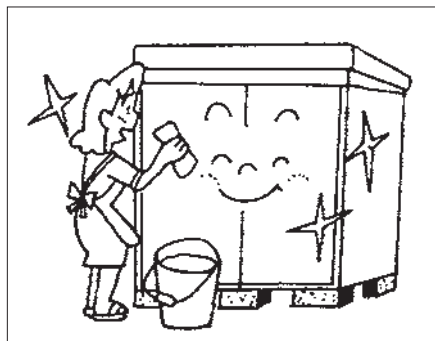
庫内がムレたり、結露した時は扉をあけて、風通しを良くしましょう。



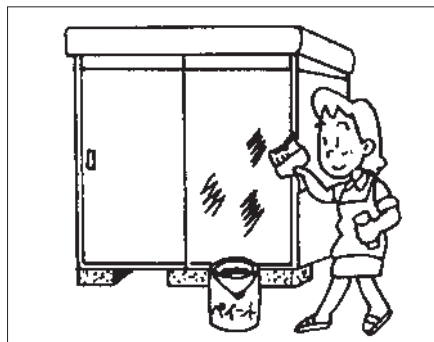
屋根や雨樋及びドアのレールには枯葉やゴミ・ドロ・小石などがたまります。定期的に掃除して下さい。



汚れたら水洗いやワックスがけなどをしましょう。



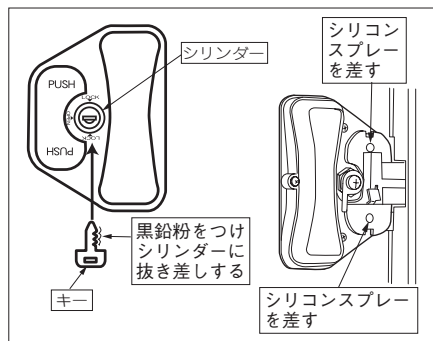
錆が発生したときはサンドペーパーをかけ、水や汚れをふき取って、塗料を塗ってください。



鍵の番号は本説明書の1ページにひかえておきましょう。又、鍵を紛失したときは、お買い求め先にお申し出ください。



鍵穴の抜き差しがスムーズでない、または重い時は黒鉛粉を、『PUSH』ボタンの動きが悪い場合はシリコンスプレーを差してください。

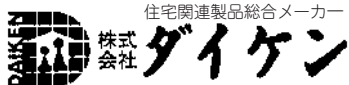


## 7. 修理のご案内

- 修理に関するお問い合わせは、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 製品に関するお問い合わせ又は万一不都合な点については、弊社営業所（裏表紙参照）へご連絡ください。
- 商品をより長く安全に使用していただく為、修理用として取替パーツを保有しております。本書の『製品の概要・各部の名称』又は、組立説明書を参照してパーツの名称を確認願います。但し、取替パーツは生産中止後 10 年間の保有となりますので予めご了承ください。

| メンテナンスノート |       |      |    |
|-----------|-------|------|----|
| 修理実施日     | 不具合箇所 | 修理内容 | 担当 |
|           |       |      |    |
|           |       |      |    |
|           |       |      |    |
|           |       |      |    |
|           |       |      |    |
|           |       |      |    |
|           |       |      |    |





本社 〒532-0033 大阪市淀川区新高2丁目7番13号  
成田工場 〒286-0225 千葉県富里市美沢11-1

TEL (06) 6392-5321 FAX (06) 6397-8600  
TEL (0476) 90-0711 FAX (0476) 90-0715

---

|        |                                         |                                       |
|--------|-----------------------------------------|---------------------------------------|
| 札幌支店   | 〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目2番2号 (札幌センタービル)  | TEL (011) 232-3017 FAX (011) 232-4825 |
| 東京支店   | 〒130-0024 東京都墨田区菊川1丁目12番5号              | TEL (03) 3633-6551 FAX (03) 3633-6556 |
| 名古屋支店  | 〒491-0822 一宮市丹陽町伝法寺4360-9               | TEL (0586) 77-7561 FAX (0586) 77-7452 |
| 大阪支店   | 〒532-0033 大阪市淀川区新高2丁目7番13号              | TEL (06) 6392-5556 FAX (06) 6395-8257 |
| 盛岡営業所  | 〒020-0126 岩手県盛岡市安倍館町18番30号              | TEL (019) 648-2220 FAX (019) 648-2240 |
| 仙台営業所  | 〒983-0034 仙台市宮城野区扇町5丁目11番26号            | TEL (022) 235-4380 FAX (022) 236-6894 |
| 埼玉営業所  | 〒331-0812 さいたま市北区宮原町4丁目57番7号 (斉藤本館ビル4階) | TEL (048) 667-9381 FAX (048) 667-9385 |
| 神奈川営業所 | 〒220-0023 横浜市西区平沼1丁目5番7号                | TEL (045) 316-3901 FAX (045) 316-3904 |
| 静岡営業所  | 〒422-8036 静岡市駿河区敷地2丁目9番20号              | TEL (054) 237-5375 FAX (054) 237-6982 |
| 岡山営業所  | 〒709-0614 岡山市竹原2186                     | TEL (086) 297-9100 FAX (086) 297-7412 |
| 広島営業所  | 〒730-0804 広島市中区広瀬町5番17号 (第一中野ビル)        | TEL (082) 294-9181 FAX (082) 294-0331 |
| 福岡営業所  | 〒811-2205 福岡県粕屋郡志免町大字別府 (亀山工業団地内)       | TEL (092) 935-9731 FAX (092) 936-2329 |
| 東京西出張所 | 〒207-0015 東京都東大和市中央4丁目962-12-101        | TEL (042) 567-1338 FAX (042) 567-1366 |
| 工場     | 室蘭・成田・十三・兵庫・岡山・津山                       |                                       |

MADE IN JAPAN